

---

# 2年前に愛した君へ

歌恋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

2年前に愛した君へ

### 【Nコード】

N9532C

### 【作者名】

歌恋

### 【あらすじ】

2年前に付き合った弘と私。でも私のしたことであ別れてしまう。今でも後悔し思いを寄せる私自身のラブストーリー。

## （前書き）

こんにちわ 歌恋です。

この小説は実話です！！

凄く短いのですが思いが伝わればいいと思っています。どうぞ読んでみて下さい。

弘？

覚えていますか？

2年前の体育祭の3日前

誰もいない教室で告白した日のことを・・・

あの時

弘は中学1年生

私は2年生。

何で1年生の弘に惚れたのかは分からない。

でも、私の人になってほしかったんだ。

私だけの人になってほしかったんだ。

それで、弘を呼び出した。

先輩のくせして自分の口で告白出来なかった。

だから目をつぶってもらって、黒板に書いたの。

「付き合ってください」

目開けていいよ  
私が言っと

弘は目を開けて  
黒板を見た。

いいですよ！  
照れくさそうに弘は言った。

その日の放課後

どうしても  
一緒に帰りたいかったから、弘の部活を覗きに行った。

弘は坊主なのに卓球部に入ってる。

黒いのに卓球部に入ってる。

何でかって？

弘は野球のシニアに入ってるからだよ。

だから、あえての卓球部。

ちょうどその日は教室練習の日だったから顧問の先生は来てなかった。

同級生の部員が入っていいよって言うてくれたから練習をずっと見てた。

そのうちに自分もやりたくなってきちゃって、ついにラケットに手をのばす。

18時頃に部活が終わり、弘と一緒に帰った。

.....

（どうしよう。何話せばいいのか分かんないよ）

凄く焦ってた。

でも、黙って下を向いてる私の手を弘は何事もないかのようにそっとならないだ。

どっちが先輩なのか分からなくなる。

やっぱり私が先輩だ。

弘はその時まだ敬語を使ってた。

私の家に着くと

「じゃあ僕この辺で。」  
って言ってはいはいした。

その日から

夜は必ず電話をした。

敬語はダメってルールも作った。

いつの日か

こんなことがあった。

いつもどうり

一緒に帰っていると、おばさんが話しかけてきて

「小さい犬を見かけたら教えてくれる？いなくなっちゃったんだよ  
！」

私たちは見つかるはずないって思ってたけど

「いたら届けますね！」  
って言つといた。

もちろん  
探す気もない。

だつて  
その日は  
雨だったから。

一刻も早く帰りたいのに、探すなんて嫌だった。

いつもどりの道を歩き家に近づいてたその時だった。

「犬いた！！ちょっと抱持つてて！」

弘が走って犬を追っかけた。

鞆を持って私はあ然としてた。

5分後くらいに弘が犬を抱えて戻ってきた。

「俺、帰り道だし届けてくるよ!!」  
弘は言った。

でも鞆もあったし、弘濡れてたから私も一緒についていった。

結構犬が重かったらしくてはあはあ言ってた。

私は弘が濡れないように頑張って傘をさしてあげてた。

ピンポーン

「あの、犬届けに来ました。」

お礼にオレンジマーマレードをもらった。

2人で笑っちゃったよね？

いいことしたねって・・・

弘と付き合ってたのはたったの1カ月だったけど、ものすごく内容が濃かったよね。

だから今でも後悔しちゃうんだよ。

私があの日あんなことをしなければ、まだ付き合ってたのかな？

いつもそう思うんだ。

6月の頭に2年生のキャンプがあった。

そのキャンプで事件は起こった。

完結に言えば

私が浮気をしてしまったんだ。

別れて2年たつ今でも、ずっと後悔している出来事。

本当にごめんね。

何度謝ってもたりない気がして・・・

浮気のことを弘に言っ て私たちは別れた。

弘と別れてからももう1人の男の子とは付き合っ てたけど、すぐ別れた。

それから2年後の今、  
ずっと悩んでる。

あれから何人かの人と付き合っ た。

好きだったし、ずっと一緒にいたいっ て思えた。

でも、結局別れる。

別れる度に思い出す。

あの時浮気なんてしなければって・・・

いつも私の気持ちのどこかに弘がいたの。

報われない片思い。

言葉に出来ない片思い。

そして、この間

久しぶりに弘に会った。

やっぱり惚れちゃうよ。

1年生の時の弘と全然違った。

凄いかっこよかった。

今、弘に彼女がいるとか、好きな人がいるとかはどうでもいい。

ただ2年間

どこかにありつづけた私の片思いを受け取って欲しいよ？

弘？

私は弘が好きです。

あの日黒板に書いた言葉・・・

「付き合ってください」

（後書き）

この度は「2年前に愛した君へ」を読んでいただきありがとうございます！  
います！！どうでしたか？

私の思いが伝われば光栄です♪

良かったらコメントして下さいね！！

また書こうと思うので、よろしくお願いします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9532c/>

---

2年前に愛した君へ

2010年10月14日23時17分発行